



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年10月30日

上場会社名 株式会社島精機製作所 上場取引所 東
 コード番号 6222 URL <http://www.shimaseiki.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 島正博
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理財務部長 (氏名) 南木 隆 (TEL) 073-471-0511
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日 配当支払開始予定日 平成27年12月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績 (平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	22,513	△12.7	1,992	△34.5	2,437	△44.4	1,621	△46.0
27年3月期第2四半期	25,784	23.1	3,044	61.3	4,382	0.5	3,003	△5.5

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 1,211百万円(△70.1%) 27年3月期第2四半期 4,054百万円(3.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
28年3月期第2四半期	円 銭 47.40	円 銭 —
27年3月期第2四半期	87.78	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	125,571	98,791	78.5
27年3月期	126,987	98,179	77.2

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 98,596百万円 27年3月期 97,985百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	15.00	—	17.50	32.50
28年3月期	—	15.00			
28年3月期(予想)			—	22.50	37.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

28年3月期(予想) 期末配当の内訳 普通配当20円00銭 記念配当2円50銭

3. 平成28年3月期の連結業績予想 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	51,000	5.5	7,000	21.8	7,500	△11.5	5,000	37.1	146.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、添付資料4ページ「サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	36,600,000株	27年3月期	36,600,000株
28年3月期2Q	2,381,626株	27年3月期	2,381,276株
28年3月期2Q	34,218,560株	27年3月期2Q	34,219,685株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11
4. 補足情報	13
受注及び販売の状況	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における経済の動向は、米国では雇用改善による個人消費の拡大が鮮明になり、設備投資もプラスに転じるなど拡大基調が続いており、欧州経済も原油安や金融緩和の継続を受けて堅調に回復しています。一方、中国においては不動産市況の低迷や株式市場の急落など景気の減速傾向が続いており、他の新興国経済も総じて成長ペースが鈍化しています。わが国では個人消費に力強さが欠けるものの、好調な企業収益を背景に設備投資が回復するなど、景気は緩やかな拡大基調となっています。

このような経済情勢の中、当社グループは国内外ユーザーの様々なニーズを捉え、市場に適合した新機種の開発と産地に密着した提案型の営業活動に注力いたしました。

当社のコア・ビジネスである横編機事業では、アジアの大量生産型市場において、大口投資が続いた前年同期に比べるとペースダウンしたものの、バングラデシュやASEAN諸国ではコストパフォーマンスに優れた「SSR」や、さらに生産効率を高めた「SVR」を中心に販売が進みました。また、中国市場ではアパレル消費需要は拡大しているものの、製品輸出の減少や人件費の上昇によりニットメーカーの事業環境は厳しさを増しており、設備投資は減少しました。中東のトルコでは近年の調整段階を脱し、設備投資の回復傾向が見られるようになり、「SVR」の売上が伸長しました。

先進国市場に対しては各地で個展を開催し、世界で初めて可動型シンカー装置を搭載した4枚ベッドのホールガーメント®横編機の新製品「MACH2XS」とデザインシステム「SDS-ONE APEX3」の連携による革新的な消費地型生産体制の提案活動を展開しました。この結果、消費地において付加価値の高い商品開発と国内生産によるクイックレスポンス体制に活路を見出す動きが広がり、ボリュームは小さいながらもホールガーメント®横編機の販売が増加しました。

国内市場では、新製品「MACH2XS」の採用は進みましたが、全体としてコンピュータ横編機の設備投資は低調となりました。

これらにより、横編機事業全体では、売上高は163億82百万円（前年同期比18.5%減）となりました。

デザインシステム関連事業においては、近年、幅広い業界に販路が広がったことで売上高も拡大基調が続いており、主力製品の「SDS-ONE APEX3」は国内市場、海外市場ともに売上が増加しました。また、自動裁断機「P-CAM」については、アパレル縫製業界のみならず自動車内装部品、炭素繊維などの産業資材関連向けに引き続き売上が拡大しました。この結果、事業全体の売上高は18億21百万円（前年同期比17.0%増）となりました。

手袋靴下編機事業は、近年、当社製品の安定性や耐久性、生産商品の品質の良さが見直され、国内外の大手メーカーからの受注は回復基調にありましたが、今期に入り減速し、売上高は9億54百万円（前年同期比19.4%減）となりました。

その他の事業につきましては部品や紡毛糸の販売が順調に推移し、売上高は33億54百万円（前年同期比14.0%増）となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間全体の売上高は225億13百万円（前年同期比12.7%減）となりました。利益面におきましては、売上総利益率は改善したものの貸倒引当金繰入額や人件費の増加などで販管費率が増加し、営業利益は19億92百万円（前年同期比34.5%減）となりました。また営業外では前年同期に比べて為替差益が減少し、経常利益は24億37百万円（前年同期比44.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は16億21百万円（前年同期比46.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期末における総資産は、現金及び預金の減少などで前期末に比べ14億15百万円減少し、1,255億71百万円となりました。負債合計は支払手形及び買掛金の減少などで前期末に比べ20億27百万円減少し、267億80百万円となりました。また自己資本の額は985億96百万円となり、自己資本比率は前期末に比べて1.3ポイント上昇し78.5%となりました。

キャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動において、売上債権の増加や法人税等の支払により16億71百万円の資金の減少（前年同期は29億3百万円の資金の減少）となりました。投資活動においては、有形固定資産の取得による支出などにより8億28百万円の資金の減少（前年同期は22億4百万円の資金の増加）となりました。

また、財務活動においては配当金の支払などにより8億27百万円の資金の減少（前年同期は9億94百万円の資金の減少）となりました。この結果、現金及び現金同等物の当第2四半期末残高は、前期末に比べて33億49百万円減少し98億14百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間までは売上高、利益ともに期初の業績予想を下回って推移しておりますが、アジア地域におけるコンピュータ横編機の需要状況は底堅く、第4四半期にかけて売上の拡大が見込めることや、11月にミラノで開催予定のITMA展（国際繊維機械見本市）において、当社の最高水準の技術を結集した最新鋭のホールガーメント®横編機やデザインシステムなどをフルラインアップで出展することで拡販に期待がつながることなどから、平成27年5月1日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

*ホールガーメントは、株式会社島精機製作所の登録商標です。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

海外連結子会社は、税金費用について、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以降実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたしました。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

当第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に係るキャッシュ・フローについては、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載し、連結範囲の変動を伴う子会社株式の取得関連費用もしくは連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に関連して生じた費用に係るキャッシュ・フローは、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載する方法に変更しております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額ははありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,512	11,254
受取手形及び売掛金	52,578	54,907
有価証券	60	59
商品及び製品	10,224	10,179
仕掛品	930	977
原材料及び貯蔵品	7,521	7,043
その他	3,572	4,643
貸倒引当金	△1,295	△1,475
流動資産合計	88,104	87,589
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,486	5,317
土地	10,891	10,892
その他(純額)	3,635	3,605
有形固定資産合計	20,013	19,816
無形固定資産		
のれん	5,040	4,813
その他	116	110
無形固定資産合計	5,157	4,923
投資その他の資産		
投資有価証券	7,735	7,931
退職給付に係る資産	650	701
その他	8,994	8,923
貸倒引当金	△3,668	△4,314
投資その他の資産合計	13,711	13,242
固定資産合計	38,882	37,982
資産合計	126,987	125,571

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,384	5,285
短期借入金	6,250	6,250
未払法人税等	1,859	1,042
賞与引当金	793	1,081
債務保証損失引当金	627	508
その他	4,134	3,963
流動負債合計	20,050	18,132
固定負債		
長期借入金	5,000	5,000
長期末払金	1,087	1,071
リース債務	1,071	1,031
退職給付に係る負債	1,068	1,081
その他	529	464
固定負債合計	8,756	8,648
負債合計	28,807	26,780
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,859	14,859
資本剰余金	21,724	21,724
利益剰余金	72,975	73,998
自己株式	△6,906	△6,907
株主資本合計	102,653	103,675
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	835	747
土地再評価差額金	△7,004	△7,004
為替換算調整勘定	1,311	1,007
退職給付に係る調整累計額	188	170
その他の包括利益累計額合計	△4,668	△5,078
新株予約権	180	180
非支配株主持分	14	14
純資産合計	98,179	98,791
負債純資産合計	126,987	125,571

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	25,784	22,513
売上原価	14,531	12,026
売上総利益	11,252	10,486
販売費及び一般管理費	8,208	8,493
営業利益	3,044	1,992
営業外収益		
受取利息	192	221
受取配当金	80	120
為替差益	1,097	141
その他	139	202
営業外収益合計	1,510	685
営業外費用		
支払利息	59	60
デリバティブ損失	41	-
貸倒引当金繰入額	-	138
その他	71	41
営業外費用合計	172	240
経常利益	4,382	2,437
特別利益		
投資有価証券売却益	61	146
特別利益合計	61	146
特別損失		
固定資産除売却損	11	10
減損損失	26	-
特別損失合計	38	10
税金等調整前四半期純利益	4,406	2,573
法人税、住民税及び事業税	1,382	908
法人税等調整額	19	43
法人税等合計	1,402	951
四半期純利益	3,003	1,622
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,003	1,621

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	3,003	1,622
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	238	△88
為替換算調整勘定	829	△304
退職給付に係る調整額	△17	△17
その他の包括利益合計	1,050	△410
四半期包括利益	4,054	1,211
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,054	1,211
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,406	2,573
減価償却費	777	785
のれん償却額	191	223
貸倒引当金の増減額(△は減少)	252	884
賞与引当金の増減額(△は減少)	273	289
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△81	△54
受取利息及び受取配当金	△273	△341
支払利息	59	60
為替差損益(△は益)	△1,075	△73
有形固定資産除売却損益(△は益)	11	10
投資有価証券売却損益(△は益)	△61	△146
減損損失	26	-
デリバティブ損失	41	-
売上債権の増減額(△は増加)	△8,435	△3,454
たな卸資産の増減額(△は増加)	2,121	289
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△459	△532
仕入債務の増減額(△は減少)	1,625	△293
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△130	33
その他	△91	△441
小計	△822	△186
利息及び配当金の受取額	260	331
利息の支払額	△87	△60
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△2,254	△1,755
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,903	△1,671
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△540	△708
定期預金の払戻による収入	2,766	919
有形固定資産の取得による支出	△710	△434
有形固定資産の売却による収入	12	1
投資有価証券の取得による支出	△202	△1,003
投資有価証券の売却による収入	1,210	829
短期貸付金の純増減額(△は増加)	131	△91
長期貸付けによる支出	△350	△200
その他	△111	△140
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,204	△828

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△199	-
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△195	△228
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△598	△598
財務活動によるキャッシュ・フロー	△994	△827
現金及び現金同等物に係る換算差額	332	△22
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,360	△3,349
現金及び現金同等物の期首残高	13,819	13,164
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,458	9,814

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	横編機	デザイン システム 関連	手袋靴下 編機	計		
売上高						
外部顧客への売上高	20,098	1,557	1,183	22,840	2,943	25,784
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	20,098	1,557	1,183	22,840	2,943	25,784
セグメント利益	4,643	378	255	5,277	340	5,618

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、編機・デザインシステム用部品事業、修理・保守事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	5,277
「その他」の区分の利益	340
全社費用(注)	△2,574
四半期連結損益計算書の営業利益	3,044

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

当第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	横編機	デザイン システム 関連	手袋靴下 編機	計		
売上高						
外部顧客への売上高	16,382	1,821	954	19,159	3,354	22,513
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	16,382	1,821	954	19,159	3,354	22,513
セグメント利益	3,640	396	166	4,203	414	4,617

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、編機・デザインシステム用部品事業、修理・保守事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	4,203
「その他」の区分の利益	414
全社費用(注)	△2,625
四半期連結損益計算書の営業利益	1,992

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

4. 補足情報

受注及び販売の状況

①受注実績

当第2四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：百万円)

セグメントの名称	受注高	前年同四半期比	受注残高	前年同四半期比
横編機	15,226	100.5%	3,505	125.5%
デザインシステム関連	1,910	109.1%	516	120.3%
手袋靴下編機	896	49.0%	81	9.4%
合計	18,032	96.3%	4,103	100.5%

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

②販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：百万円)

セグメントの名称	販売高	前年同四半期比
横編機	16,382	81.5%
デザインシステム関連	1,821	117.0%
手袋靴下編機	954	80.6%
その他	3,354	114.0%
合計	22,513	87.3%

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。